

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

# 「新幹線の台車に亀裂」 なのに検査体制削減!?

## 千葉派出4徹↓2徹で6人削減を提案 千葉支社

JR千葉支社は2月9日、「幕張車両センター 千葉派出所の要員体制見直し」について提案を行いました。提案の内容は、千葉派出を4徹体制から2徹体制に変更、要員も13人から6人削減して7人体制にするものです。実施日については、4月1日より実施するとしています。

千葉派出の削減提案（実施日 4月1日）

	現行	提案	増減
体制	4徹	2徹	▲2
要員	13名	7名	▲6

### 2人では車両故障 の対応できない

千葉支社は、事故処理件数が減っていることなどを提案理由に上げています。

しかし、すでに千葉派出以外の木更津、鴨川、一ノ宮、銚子の各派出は2012年10月に外注化されています。

現在、千葉支社管内でJR直営の派出所は千葉と西船橋だけです。そのため千葉派出から内房線の岩井や外房線の

勝浦まで行かざるを得ない状況になっているのです。

こうした対応ができるのは、4人体制だからです。2人体制になれば、もはや出勤要請があっても出ることができなくなります。

### 必要なのは派出体制の強化

昨年12月、東海道・山陽新幹線で台車の亀裂が発見される重大事態が発生しました。このときは車両保守要員が添乗し、停車して点検する必要があると輸送指令に連絡しています。

しかし、指令は運行継続を指示しました。異音、異臭が確認されながら、名古屋まで約3時間740キロも運行し続けることになりました。

これは、JR西日本や東海だけの問題ではありません。検査派出の要員削減で車両に添乗することもできなくなれば、こういった異常を察知して停車・点検を判断するのはさらに困難になります。

新幹線でさえ重大事態が発生している中だからこそ、派出体制の強化が必要なはず。今回の千葉支社提案は、安全確保と逆行する提案です。